

JICA-PNGFA PROJECT

気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの活用に関する能力向上プロジェクト

Capacity Development Project for Operationalization of PNG Forest Resource Information Management System (PNG-FRIMS) for Addressing Climate Change

プロジェクト沿革

背景

パプアニューギニア(以下、「PNG」)は世界有数の熱帯雨林保有国であり、その森林は輸出品目として重要な木材生産の場であるとともに、豊かな生物多様性を有している。また、近年はそれら森林が気候変動の緩和に果たす役割も大きく期待されている。一方で、PNGにおいては森林の急速な減少・劣化が懸念されているにもかかわらず、森林の状態を継続的・客観的に把握する手段がなかった。

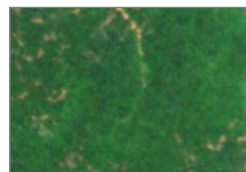
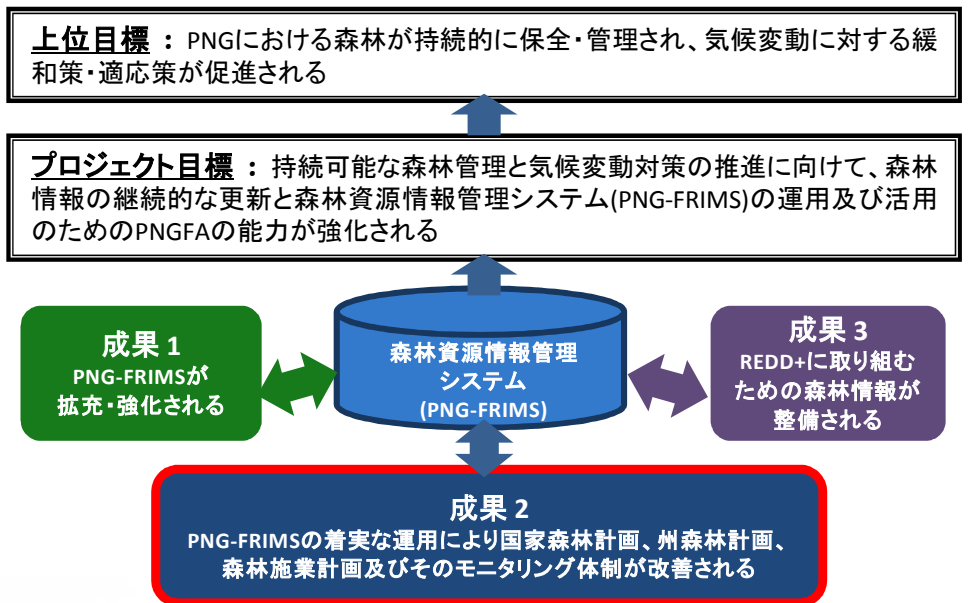
このため、PNG政府の要請により、日本政府の無償資金協力による資機材の供与と連携して、2011年3月から2014年3月まで、3年間のJICA技術協力プロジェクト「気候変動対策のための森林資源モニタリングに関する能力向上プロジェクト」(以下、「先行プロジェクト」)が実施された。

先行プロジェクト(2011-2014)の成果

先行プロジェクトでは、①「全国森林基盤図(2012)」が作成され、37百万ヘクタールに及ぶ森林の減少・劣化についての更なるモニタリングの必要性が明らかにされたほか、②衛星リモートセンシング技術と地理情報システムをベースにした「森林資源情報管理システム」(以下、「PNG-FRIMS」)の更新や、③衛星レーダー技術を用いた森林・炭素モニタリング手法の開発、が行われた。また、PNG国の「森林」を定義する閾値の決定に貢献した。

新プロジェクト(2014-2019)

これらの背景のもと、先行プロジェクトの成果を受けて、PNG政府からの要請により、森林の持続可能な管理を推進するとともに気候変動に対処するため、PNG森林公社(PNGFA)が、PNG-FRIMSを活用しつつ森林についての情報を継続的に更新していく能力を向上させることを目的として、2014年8月より5年間のJICA技術協力プロジェクト「気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの活用に関する能力向上プロジェクト」が新たに開始された。



高インパクト伐採 低インパクト伐採
人工衛星画像(RapidEye:解像度5m)から確認された伐採インパクトの違い

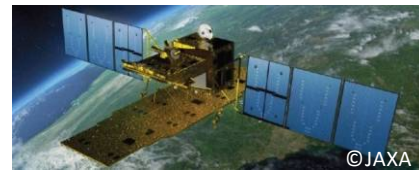
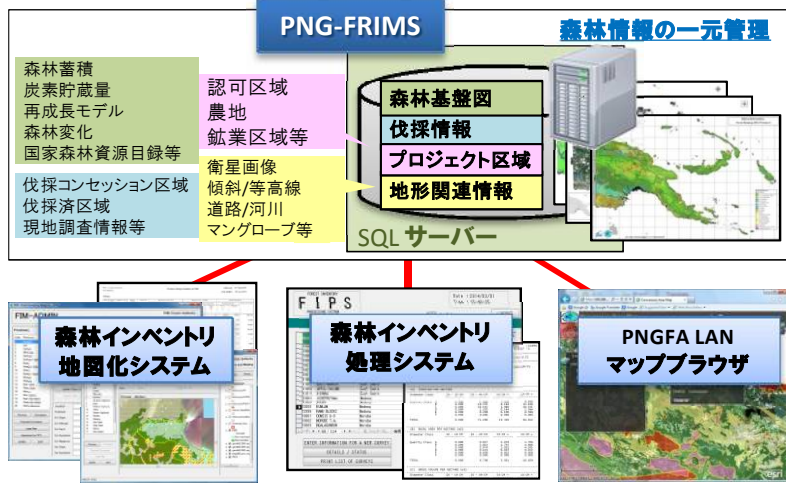
森林管理及び
森林行政の改善

成果及び進捗状況



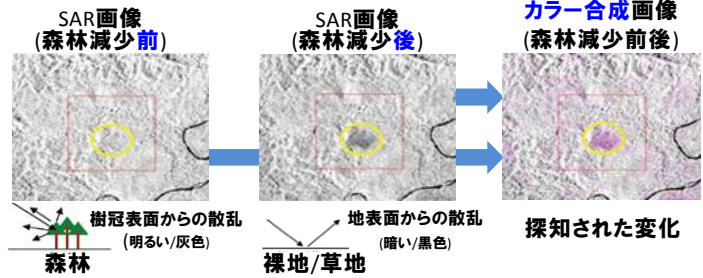
成果 1 森林資源情報管理システム(PNG-FRIMS)の拡充・強化

進捗状況：森林基盤図の修正、伐採情報の更新及びPNG-FRIMS データベースへの地形関連情報の追加
森林劣化の検知及びPNG-FRIMSへの新たな機能の追加については現在進行中



ALOS-2 (2014年5月打上成功)

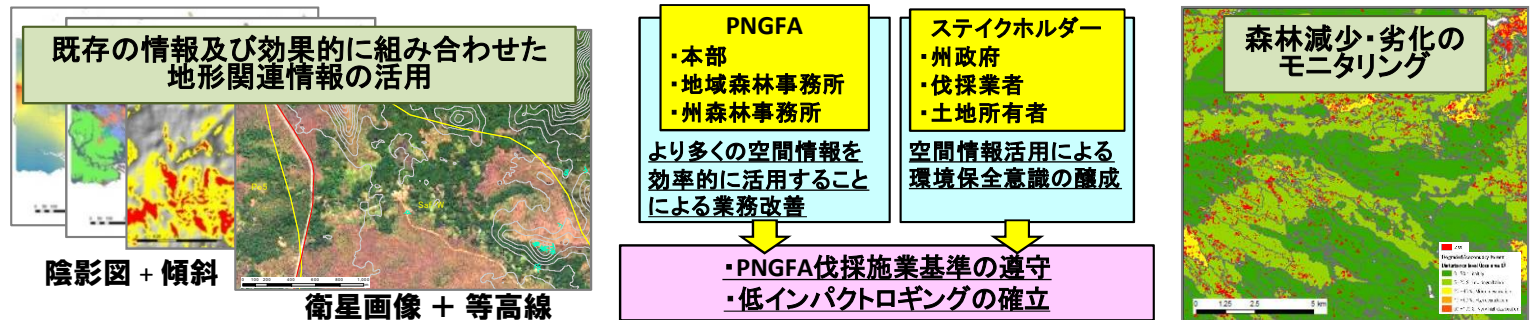
日本のレーダー衛星 (ALOS-2)、伐採計画及び既存のデータベース等を組み合わせた分析による森林変化モニタリング



成果 2 PNG-FRIMSの着実な運用による国家森林計画、州森林計画、森林施業計画及びそのモニタリング体制の改善

進捗状況：森林管理、森林計画の改善策を検討

森林管理及び森林計画のための森林基盤図及びデータベースの改善及び活用



成果 3 REDD+に取り組むための森林情報の整備

進捗状況：他のドナーやPNG国内のステイクホルダー(利害関係者)の活動のために様々な情報を提供中

(1)国家森林目録作成、(2)REDD+国際報告及び(3)森林保全実施及び行政のための支援



PNG Forest Authority (JICA Project)

住所: P.O.Box 5055, Boroko, National Capital District, Papua New Guinea

Eメール: cbigol@pngfa.gov.pg / twatanabe@pngfa.gov.pg

JICA Project ホームページ: <http://www.jica.go.jp/png/english/activities/activity12.html>

Project Facebook ページ: <https://www.facebook.com/jica.png.forest.monitoring/>



最終更新: 2016年1月